七つの習慣

ちゅん

定年退職まであと数年。人生百年時代で、改めて第二の社会人人生を考えている中、会社の研修に関係する本と言うことで読みました。結論から言うと、目から鱗で、自分の生き方を見直すための指針を得ることができました。バブル期になんとなく入社し、その後は、飲み会を通じていかにお客さんと好関係を築くか、社内の仕事は投げられたボールを上司が満足するようにうまく早く打ち返すか、ということばかり意識してきました。結果として明確な目標を持たず、何となく過ごして来てしまいました。七つの習慣は、確りした自分を持つ事を学びました。すなわち、自分を振り返り、ありのままの自分を見つめ直し、自然体で自立すること。そして、仕事を含め、何かをする時に目標を設定すること。そしてまた、周囲からの圧に左右される事なく原則に沿って最も大切な事を優先する、と言う事

です。第一から第三の習慣ですが、先ずは、改めてここを確りと固めることとしたいと思います。その上で、第四から第七の習慣も意識して身につけていけるようにしたいと思います。これまでの会社員人生で考えてこなかったキャリア自律を遅ればせながら考え始めることができ、不安だった退職後の再就職が、この本を読んでからは、「自分に何ができるのだろうか」とワクワクして考えられるようになりました。もっと早くこの本を読んで、もっと早く学びを得て実践していたら、会社員人生も違ったものになっていたかもしれないなぁ、ともっと早く出会えていたらよかったのにと感じています。

20 × 20